

藍住町

議会だより

第83号

平成27年11月25日



あいすむまちの音楽会

9月定例会

平成26年度一般会計・特別会計決算認定	P. 4～5
常任委員会～主な質疑～	P. 6～7
一般質問～町政のここが聞きたい～	P. 8～12
議員視察研修～岩手県葛巻町・紫波町～	P. 13
わたしの一言・議会のうごき	P. 14

発行●藍住町議会 編集●議会だより編集委員会 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127 FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

9月議会定例会が9月7日から30日までの24日間の会期で開会されました。上程議案のうち、決算認定8件、補正予算1件、条例改正5件については、3つの常任委員会にその審議を付託し、最終日には全件原案のとおり可決されました。

一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

9月定例会

～町長提案～

- 平成26年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（介護保険事業）歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（介護サービス事業）歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（水道事業）利益の処分及び歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成26年度藍住町特別会計（下水道事業）歳入歳出決算の認定 …………… 原案可決
- 平成27年度藍住町一般会計補正予算 …………… 原案可決
- 藍住町個人情報保護条例の一部改正 …………… 原案可決
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う
条例の一部改正
- 藍住町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正 …………… 原案可決
特定個人情報保護評価に関する規則の規定に基づく条例の一部改正
- 藍住町住民の印鑑に関する条例の一部改正 …………… 原案可決
- 藍住町税条例の一部を改正する条例 …………… 原案可決
交付手数料の額に関する規定を藍住町手数料徴収条例で定める条例の一部改正
- 藍住町手数料徴収条例の一部改正 …………… 原案可決
手数料や番号法にかかる個人番号カード等の再交付手数料を規定し、コンビニエンスストアでの
交付機による交付手数料と窓口交付との差を設定する条例の一部改正
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意 …………… 安宅恒夫氏

～町長報告～

- 平成26年度財政健全化判断比率の報告
- 平成26年度水道事業会計資金不足比率の報告
資金不足なし
- 平成26年度下水道事業会計資金不足比率の報告
資金不足なし

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

定例会案内

次の定例会は12月です。
次号は2月に発行します。

本会議を傍聴しませんか

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 637-3127

平成27年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

2億6,900万円増額

予算
総額

96億6,900万円

～主な補正の内容(1万円未満切り捨て)～

総務費

- ◆ 電子計算機管理費 560万円
(電算システム改修委託料)
- ◆ 備品購入費 156万円
(個人情報関連機器等購入)
- ◆ 工事請負費 6,586万円
(〔仮称〕藍住町文化ホール・公共施設複合化事業に伴う緑の広場周辺解体・撤去造成工事)

農林水産業費

- ◆ 一般排水改良費 400万円

土木費

- ◆ 一般町道新設改良費 500万円

民生費

- ◆ 児童福祉総務費 392万円
(病児病後児保育事業委託料)
- ◆ 児童館総務費 3,891万円
(奥野児童クラブ増設に伴う施設整備)
- ◆ 保育所総務費 9,356万円
(あいずみ保育園増築・大規模改修事業補助金)

教育費

- ◆ 小学校総務費 150万円
(北小学校壁塗装工事)
- ◆ 体育館管理費 4,950万円
(体育センター屋根改修工事)

町からの 主な報告

マイナンバー制度

平成28年1月から個人番号カードが交付される。

本町では、個人番号カード交付に併せ、個人番号カードを利用した証明書のコンビニ交付サービスを実施予定。

このことにより、住民の方にとっては、全国のコンビニで証明書の取得が可能になり、また、従来の住民票の写しや印鑑登録証明書に加え、戸籍証明書の取得も可能となるため、現在の自動交付機に代わる証明書交付サービスの充実、拡大が図られるものと考えている。

子育て支援

本年度新たに、あおば保育園が認可保育所に加わったことにより、町内の認可保育所は合計4か所となり、あおば保育園もほぼ定員どおりの入園者で、順調に運営されている。

今後、保育需要に対する供給体制の確保を図る必要

要があるため、あいずみ保育園の増築及び大規模修繕工事を行うとともに、保育所増築等に対し補助を行う。

奥野児童館増設工事

現在、藍住南小学校1年生から3年生までの120人の児童が利用しており、現行施設では狭い状態となっている。

また、児童福祉法の改正により児童クラブの受け入れ学年が小学6年生まで拡大されたため、奥野児童館の敷地内に新たな施設を整備し、奥野児童クラブの受け入れ拡大を図る。

(仮称) 藍住町文化ホール・公共施設複合化事業

最近の公共事業等の状況では、軒並み事業費の増加を余儀なくされており、本事業についても、当初に予定されている事業費の増加は避け難いと推測される。財政的な負担を考慮しつつも、町民の皆さんに喜んでいただけるものを実現させたい。

町民体育館行事

10月4日(日) 市町村連携コンサート「あいすむまの音楽会」を開催。

陳

情

2件の陳情があり、議員に配布しました。

外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

陳情者 行橋市議会議員 小坪 慎也

ヘイトスピーチ対策に関する陳情書

陳情者 樋口 直人

決 算 認 定

一般会計は
実質収支額 **2億2,333** 万円の黒字決算

歳入総額	100億9,473万円
歳出総額	97億6,113万円
歳入歳出差引額	3億3,360万円
繰越明許費繰越額	1億1,027万円
実質収支額	2億2,333万円
財政調整基金繰入額	2,300万円
平成27年度への繰越額	2億33万円

歳入歳出差引額から、繰越明許費繰越額（26年度の特定期間への繰越額）を差し引いた実質収支額は2億2,333万円の黒字となりました。

実質収支額の10%である2,300万円を財政調整基金（町の貯金）へ積立、残り2億33万円を27年度へ繰越しました。

★平成26年度決算の状況★

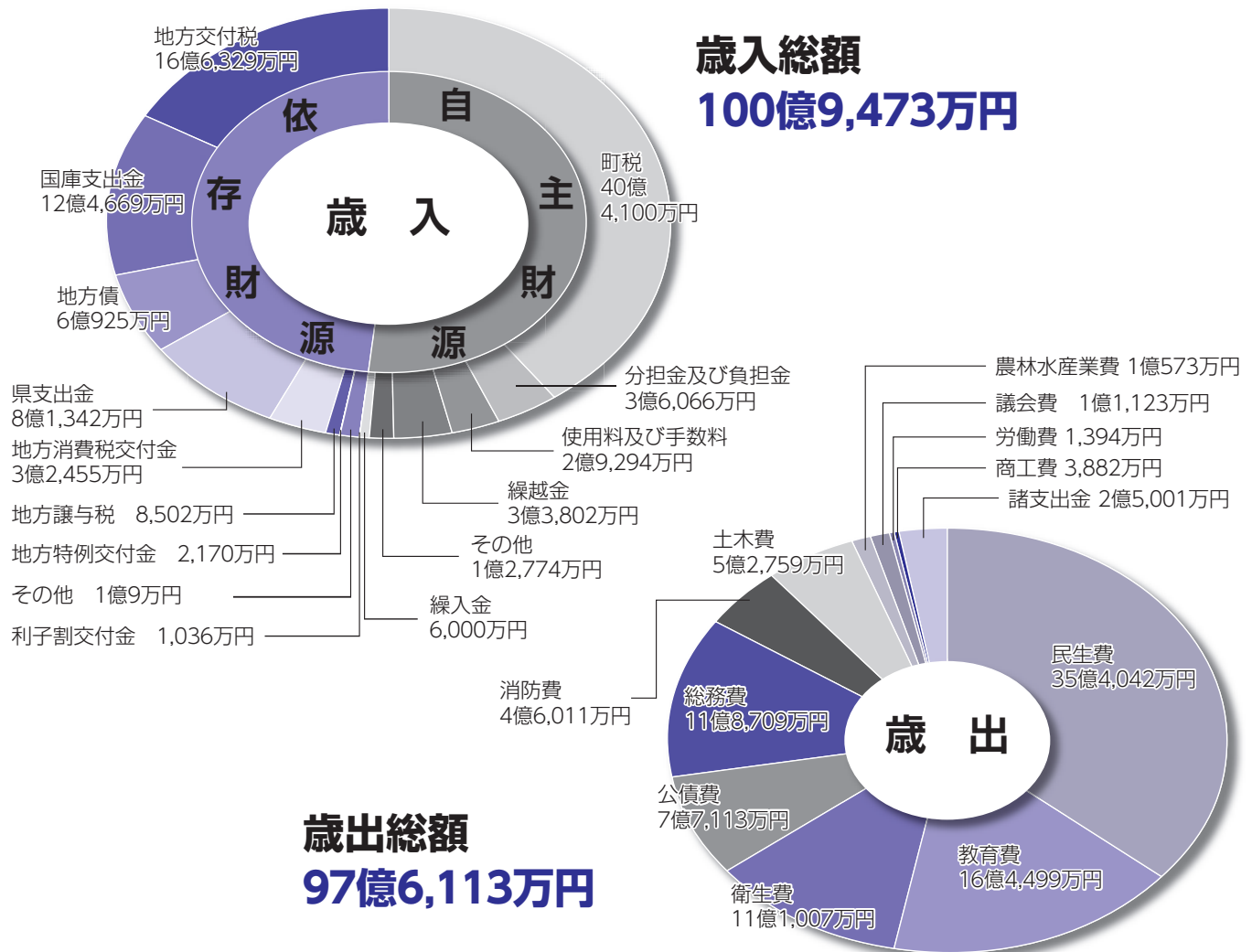
区 分		歳 入 額	歳 出 額	繰越明許費	実質収支額
一 般 会 計		100億9,473万円	97億6,113万円	1億1,027万円	2億2,333万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	32億9,166万円	32億8,364万円	0円	802万円
	介 護 保 険 事 業	23億1,271万円	23億1,271万円	0円	0円
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	998万円	998万円	0円	0円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2億6,447万円	2億5,551万円	0円	895万円
	藍寿苑介護サービス事業	2億6,710万円	2億5,024万円	0円	1,686万円
	下 水 道 事 業	6億323万円	5億8,404万円	0円	1,918万円

区 分		収 入 総 額	支 出 総 額	収益的収支純利益(消費税調整後) および資本的収支不足額
水 道 事 業	収益的収支	5億1,912万円	4億939万円	9,855万円
	資本的収支	597万円	1億5,299万円	△1億4,701万円

※水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました

平成26年度

一般会計・特別会計



★健全化判断比率★

指 標	平成26年度	早期健全化基準※1	備 考
① 実質赤字比率※2	—%	14.23%	実質黒字額 223,331千円
② 連結実質赤字比率※3	—%	19.23%	連結実質黒字額 1,122,793千円
③ 実質公債費比率※4	5.9%	25.0%	
④ 将来負担比率※5	—%	350.0%	

※1 早期健全化基準を一つでも超えると「財政健全化計画」を定めなければならない

※2 一般会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※3 水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※4 借入金（町債）の返済額（公債費）の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※5 借入金（町債）などの現在抱えている負債の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

常任委員会 主な質疑

9月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。
主な質疑・意見については次のとおりです。

総務文教常任委員会

平成26年度

一般会計決算

〔滞納繰越分〕

問 軽自動車税滞納繰越分の内容は。

答 車検のない原付自転車が多く、滞納という形になっている。

問 住宅新築資金貸付事業での不能欠損の理由は。

答 調定額は現年分と滞納繰越分を合わせて表示している。現年分の滞納は僅かであり、滞納繰越分については貸付者が亡くなっているなど、回収は困難な状況である。不能欠損の事案は2件で、既に物件は競売されており、保証人からの回収も見込めないことから、不能欠損処理を行っている。

〔臨時財政対策債〕

問 借入残高が44億円あるが、今後は増えないのか。

答 臨時財政対策債は、交付税の不足額について臨時財政対策債を発行すること

によって対応される制度で、町では交付税の一部と考え、借入れをしている。額自体は下がっているが、今後は交付税全体も減額されることを危惧している。

〔地方創生〕

問 施策の内容や進捗状況は。

答 藍住町総合戦略策定事業に必要な予算は今年度に繰越し、現在、策定中である。

〔災害用備蓄事業〕

問 備蓄品や資機材等の整備の状況は。

答 ゴムボート2艇、ライフジャケット10着を購入し整備を進めている。今後も発電機や簡易トイレ等、必



要に応じて年次的に増やしていきたい。

平成27年度

一般会計補正予算

〔児童館施設管理費〕

委託料

問 年度途中での増額補正の理由は。

答 当初予算は1月にほぼ確定することから、当初予算に反映されず、児童クラブの時間延長による厚生指導員の賃金の見直しのため。

〔保育所総務費〕

問 保育所大規模改修事業補助金の事業内容は。

答 保育所を運営する社会福祉法人等民間が建物を修繕する場合に補助制度あり、修繕工事については国

が2分の1、町が4分の1、法人が4分の1の負担割合で、法人には県や町の規定に基づいて工事を執行することを指導しており、補助金の交付は十分精査した上で決定している。

【意見】

予算書説明欄の表記は、委託料や工事請負費など、詳細に表記をすべき。

〔個人番号カード〕

問 役場の自動交付機を廃止し、個人番号カードを利用したコンビニ交付サービスを導入することが、本場に住民サービスの向上になるのか。

答 役場の自動交付機のリース期間が満了時期にきており、マイナンバー制度の導入時期に合わせて、コンビニ交付に転換するほうが、掛かる経費も少なく、住民の利便も良くなると判断した。

また全国のコンビニエンスストアでも取得可能となることから、住民サービスの向上につながると考えている。

【意見】

軽自動車登録用の住民票交付の無料化廃止は、軽自動車税が町の収入であるため、無料化は継続してもらいたい。

厚生常任委員会

建設産業常任委員会

平成26年度

一般会計決算

浄化槽設置整備事業

どのような補助金か。

平成23年から5年間の補助事業で、国からは循環型社会形成推進交付金、県からは浄化槽整備事業県補助金としていただいている。

平成26年度
国民健康保険事業当初予算

一人当たりの調剤費が他町より多いが、ジェネリック医薬品使用促進の指導はしているのか。

一定の金額を超えられた方には個別通知をしている。



財政調整基金の積立金の額は法定に決まった率があるのか。

法的な決まりはない。積立金の額は年々減少傾向であるため、今後、検討する必要がある。

不能欠損額

収入未済額が多い原因は。

不能欠損は、執行停止を行って3年間たつた場合と、時効で5年間経過した場合で不能欠損を行う。

平成26年度は129件で、2000万円余り、時効の関係は2180万円程度ある。滞納者に対しては、財産調査等をして、差押え可能なものがあれば、できるだけ徴収をしている。

平成26年度 介護保険事業会計決算

介護保険料が増加傾向にあるが、抑制する取組は。

町では、いろいろな形で介護予防事業を実施している。内容について精査し、幅広く参加してもらえ

るような事業も検討していきたい。

民間のプールを利用した健康啓発について、補助金を交付するなど実施する予定は。

現時点での予定はない。

平成24年度藍寿苑介護サービス事業会計決算

民間委託後にどのような問題が出てきているのか。

指定管理後に実施した無記名のアンケート調査を見ても、大多数の方が満足という結果が出ており、大きい問題はない。

特別養護老人ホームの入居条件について、制度改正により、要介護1・2の方が除外されることになるが、現在、入居している方はどうなるのか。

新規に入所される場合は、特別な場合を除き、要介護3以上の方しか入居できないが、以前から入所されている方については、引き続き入所はできる。

平成26年度

一般会計決算

屋外広告物の許可とはどのような許可か。

県から権限委譲を受けて事務を行っており、広告物を設置した場合、種類や面積に応じて申請手数料が町の収入になる。

経営所得安定対策事業

加入者に3319万8000円が交付され農家の所得が向上したとあるが、どのような結果が出たのか。

この制度は米以外の野菜等を作付けた場合に国から補助金が出る制度で、申請いただいた農家に奨励金という形で交付している。

地籍調査

進捗状況は。

平成22年度に奥野地区から始めたが、この事業は多額の費用が掛かるため完成までには、長い年月を要する。調査の進捗は国や県からの補助金の額にも左右されるため、今後、国や県

に補助金の増額の要望を行い、少しでも早く事業が完了するように努力したい。

町道・排水路等維持補修事業

民間委託をしたことにより、財政的な面でプラスになったのか、また、仕事の内容は向上したのか。

人件費の削減が大きな目的で、事業の内容については、直営でやっていた時と変わらない。

民間委託をしてからは、休日に対応した事例もあり町民には喜ばれている。

平成26年度 水道事業会計決算

石綿管等の改良工事の今後の計画は。

石綿管については、1年間に1キロメートル程度の改良工事を計画的に行い、6年で完成する予定である。石綿管以外の配水管改良工事も計画的に進めていきたい。

水道料金の滞納状況は。未収金はあるが、本年4月から集金を民間に委託

しており、未収金は解消されていくと見込んでいる。

給水状況の有収率が低下したのは、配管の老朽化によるものなのか。

明確な理由は分からないが、一般的に有収率が80%以上あれば健全経営であるといわれており、1%前後の減は問題ない。

平成26年度 下水道事業会計決算

下水道工事の際、支障になる水道管があると思うが、事前の調査や工事について協議はしたか。

下水道の路線を決定し、水道管が支障となるか確認をしている。支障がある場合は、補償金を出していただき移設している。

下水道工事の際、並行して上水道老朽管の布設替工事できないのか。

下水道は一般的に水道管より深い位置であるため並行して工事ができる高さではない。

防災・家族で考えるマイ防災マップについて

防災意識の啓発に努める

問 南海トラフ巨大地震に備えて、避難時の心構えや自宅から避難所までの危険箇所、注意点を記した「マイ防災マップ」の作成は非常に重要である。その作成の手引きやリストアップした避難時の非常持ち出し品を、町民に対して回覧板等で周知するよう要望する。

いつ起こるか分からない地震・台風・豪雨・津波災害。先月来襲した台風18号で甚大な被害があった茨城県、鬼怒川の堤防決壊を教訓に、吉野川の堤防決壊を想定した対策を国土交通省へ要望・陳情をしていただきたい。

答 いざというときに的確な行動がとれるよう、日頃から自宅周辺や避難所までの経路、所要時間、危険箇所の確認などを行ってもらえるよう啓発をしていきたい。

非常持ち出し品については、平成26年5月に町内全戸に配布した「総合ハザードマップ」に掲載しているほか、本年、配布を始めた「藍住町暮らしの便利帳」にも掲載している。

元気に老いる高齢者・ 広がる生活不活発病対策について

講演会を実施



永濱 茂樹 議員

問 生活不活発病は全身の機能が低下する病気で、特に被災後、仮設住宅等に避難した高齢者や障がい者の方が何もしることがないことから起こりやすいといわれているが、被災地だけでなく在宅生活を送る人も同様である。町民の健康保持・介護予防対策のため生活不活発病の講演を。

答 予防の啓発活動として、7月12日に全国統一介護予防推進キャンペーンとして「骨と筋肉を鍛えて元気で長生き」と題して講演会を開催し、10月31日の福祉・健康づくりの町フェスティバルでは「元気で長生きの秘訣」と題して、生活不活発病の予防と介護予防の話を中心とした講演会を計画している。

その他の質問

交通安全・自動車渋滞 緩和対策について

板野署と相談し要望をしていきたい

問 防災避難・交通渋滞緩和対策として、県道と交わる町道交差点の道路拡幅と、笠木ファミリーマートの西町道、渋滞緩和対策として、北側道路右折レーンによる時差式信号の設置について対策を。

答 平成20年に道路計画を示して関係者に交渉したが、現状のままでお願いしたいとのことであり、7年余り経過しているため、再度交渉をしたい。
また、板野警察署交通課と相談をし、要望をしていきたい。

◎教育・スクールカウンセラー配置人数の拡充について
◎介護予防・筋肉を作るには運動と栄養が大切
◎庁舎内のハンドドライヤーの設置状況について



福祉・健康づくりフェスティバル
講演会の様子

マイナンバー制度について

関係事務の取扱についての
職員研修を実施する

問 日本に住民票を持つ全ての人に12桁の番号を割り当てる個人番号カードが平成28年1月から交付され、行政手続きの簡素化や身分証明など幅広く活用でき利便性が期待される一方で、個人情報流出等が懸念される。漏えいが疑われる時の通報や調査など、対処の仕組みを確立、責任の所在を明確にするなどの対策は万全か伺いたい。

答 本町の基幹システムは、インターネットとは分離したネットワークとしており、直接にサイバー攻撃を受け、情報がインターネットを通じて流出することはないと考えているが、USBや外部記憶媒体を介して、コンピュータウイルスに感染したり、データが流出するという可能性は残っている。これらを取り扱う職員への研修を強化し、人的セキュリティ対策を強化していきたい。

投票率向上への取組

学校教育の中にも取り入れて
もらえるよう働きかける

問 若者をはじめとする有権者の投票率が低下傾向にある中、有権者が投票しやすい環境を一層整備し、投票率の向上を図っていくことが課題となっている。

明年の参議院選挙から選挙権が18歳に引き下げられることを見据えて、投票率向上のため、現在役場4階の投票所以外にも、賑わう商業施設で期日前投票所の設置を検討してはどうか。

投票率向上のために、取り組んでまいりたい。

商業施設での期日前投票については、投票システムの構築が必要となり、費用面やセキュリティ面についても、十分考える必要がある。



西川 良夫 議員

自転車安全使用について

交通ルール・マナーについての指導に努める



交通マナー指導の様子（藍住東中学校）

問 危険な行為を繰り返す自転車運転者に講習受講を義務付ける改正道路交通法が本年6月1日に施行された。未成年者の加害者となる事故で多額の賠償請求を求められるケースも増加している。

自転車は軽車両であり例外を除いて車道左側通行、並列走行禁止と決まっている。

学校でも道路交通法についての教育は不可欠だと思いが現状について伺いたい。

答 小学校では毎年、全校児童を対象に板野警察署の方に交通安全についての講話をしていただき、3年生を対象に、自転車での正しい通行の仕方や、安全運転について実技指導を行っている。

中学校では、1年生を対象に交通安全教室を開催し、全学年を対象にした自転車の安全点検を定期的実施。

勝瑞城館跡まつり復活

できる範囲でサポートしていきたい

- 問** 昨年のまつりは少し衰退し、今年はどうすれば盛り返し、盛大にできるかと、相談を受けていました。毎年11月に、三好市三野町で戦国武将三好長慶武者行列まつりが盛大に行われていますが、この力を借りることができれば、勝瑞城館跡まつりは復活し、盛り返す事ができると考え実行に入りました。様々な検討課題を克服し、多くの支援者と実行委員の方々の御尽力により勝瑞城館跡まつりは盛大に復活を果たしました。
- 答** この度の復活を一時的なものにせず、来年も再来年も、盛大なものとして、つないでいくには、どのような将来構想とされているのか尋ねます。
- 答** この祭りは、地域ボランティアを核とする民間の力による推進を特徴としており、今後ともより改善されながら長く続くよう、できる範囲でサポートしていきたい。

勝瑞城館跡の活用

町民の皆様方が自発的・主体的に参加したいと思うような仕組み作りが必要

- 問** 勝瑞城館跡は中世から戦国時代にかけて、阿波の中心として栄え、遺跡調査から21年、史跡指定から14年、居住館・庭園も復元される予定から、広場はますます立派なものとなります。
- 答** 整備された暁にはこの空間をどのように維持・活用されるのか、構想と決意を尋ねます。
- 答** 単に歴史を伝える建造物の機能だけでなく、町民の憩いの場としての機能を大事にし、行政主導ではなく、町民の皆様方が自発的・主体的に参加したいと思うような仕組み作りが必要と考える。



眞吉 議員

地方創生の進捗状況

総合戦略と第5次総合計画を策定中



藍住町地方創生推進会議（第2回）の様子

- 問** 6月に地方創生推進会議を開催し、議論も進んだと思いますが、現時点での地方創生推進会議の進捗状況と、総合戦略を尋ねます。
- 答** 第1回会議では、藍住町の現況を説明し、様々な分野の各委員からそれぞれの立場、見地から自由な意見をいただいた。
- 第2回会議では、いただいた意見を踏まえ、総合戦略の構成案と戦略骨子について、議論をお願いしたい。
- 総合戦略については、年内をめどに素案を完成させたいと考えており、第5次総合計画と併せて、藍住町が「住みたいまち」「にぎわいのあるまち」と多くの皆さんに思っていただけの町となるよう、総合戦略と第5次総合計画を策定していきたい。

農業振興について

県や商工会と協同して支援

問 地域ブランド化による農家収入増はどのように取り組んでいるのか。また、6次産業化に向けた対応はどのようにしているのか。

答 農家の紹介や学校給食への利用等の支援。
町内の数軒の農家で、野菜の素材を生かしたドレッシングや加工品の販売、商品化を模索している農家もあり、町内のイベント等には試食や販売を行っている。



農業振興祭「にんじんスイーツ」試食の様子

(仮称) 藍住町文化ホール 公共施設複合化事業について

11月頃には設計が完成予定

問 徳島市の新町西地区再開発事業の総事業費が56億4千万円膨らんだ。この報道を受け町長は、最近の公共事業等の状況を見ると軒並み事業費の増加を余儀なくされており、当初に予定されている事業費の増加は避け難いとのことであるが、大幅に工事費が上がった場合、町民に対してどのように説明していくのか。

答 現在、詳細設計を進めているところであるが、東日本大震災以降、震災復興や東京オリンピック招致決定など、近年、建築資材費

や労務単価の高騰を余儀なくされている。当事業についても、これら社会情勢の影響を受け、当初想定額より増額になる見込みであるが、本町の中核施設として、文化と憩いの場所になるものと考え、御理解、御協力をお願いしたい。



小川 幸英 議員

学校教育、家庭教育について

組織的な対応を図る

問 ①いじめ問題や、不登校児童減少に向けての具体的な取組は。
②幼稚園でのいじめ指導はどうなっているのか。
③不登校児童生徒のための適応指導教室（キャロッコ学級）では、ボランティアの方々每週に何回か熱心に指導してくれていると聞くが、その方たちを町独自で雇用してはどうか。
④児童生徒が現在通級している緑の広場管理棟が（仮称）藍住町文化ホール公共施設複合化事業のため取り壊しになり、婦人センターや東中富の老人憩の家に通級することであるが、文化ホール完成時にはキャロッコ学級が入ることはできるのか。

答 ①子供一人一人に目を配り、児童に積極的に声を掛け、いじめの早期発見に取り組んでいる。また、不登校児童生徒に対して、学級担任が電話連絡や家庭訪問を行い状況把握を図り、保護者との連携をとっている。
②相手の気持ちに気づけるような絵本の読み聞かせ等の取組をしている。
③現在、民生委員、塾講師等13名の方が進んでボランティアとして来てくださり、ありがたく思っている。
④保護者からの要望もあり、婦人センターや東中富老人憩の家を活用。



ごみ処理と収益の活用

西クリーンステーションの運営費に充てている

	24年度	25年度	26年度
人 口	33,858	34,255	34,501
一般家庭 燃やせるごみ (t)	5,949	5,851	5,978
事業系 燃やせるごみ (t)	1,964	2,069	2,036
資源ごみ (t)	2,480	2,441	2,399
粗大ごみ (t)	163	183	184
燃やせないごみ (t)	115	98	104
合 計	10,671	10,642	10,701
資源ごみ収益額 (円)	9,350,007	7,959,134	8,712,113

ごみ量の推移

- 問** ①町の一般廃棄物の排出状況は。人口増と大規模店舗進出の影響について。
- ②ごみ袋有料化を導入後、ごみ袋の収支状況は。
- ③資源ごみの再利用に取り組んできたが収益額は。
- ④町民の協力で行政は前進、評価と業績を広報で知らせること。
- ⑤ごみ袋や資源ごみの収益で、学校施設に生ごみ処理機の導入を。
- 答** ①人口は増加しているが、一般家庭のごみは横ばいで推移。事業系ごみは増加。別表参照。
- ②平成26年度の販売代金3921万2000円、収入額941万円。
- ③別表参照。
- ④町民の方のごみに対する意識が高く、多大な協力をお願いしており、業績について広報で知らせる。今後も協力をいただけるよう啓発に努める。
- ⑤生ごみ処理機が高額なため、今後、費用対効果等を検討していきたい。



林 茂 議員

電気のコストと避難場所の対応

大きな課題

- 問** ①町の年間電気料金は。また小中学校の現在の電気料金とエアコン設置後の電気料金見込額は。
- ②電力自由化以降、電力の購入先を割安な新電力へ切り替え、電気料金を節約する企業や自治体が増えている。新電力切替えて1700万円削減になるが。
- ③災害時に避難場所となる施設で停電等の対応は。屋上を活用して蓄電機能付の太陽光発電設備設置をすべて検討していく。

- 答** ①26年度は1億7055万802円。
- 小中学校の電気料金は年間約4000万円の増加が予想される。
- ②他の団体の状況や動向、電力切替えによる経費削減効果など、今後検討していきたい。
- ③設置場所の耐震性や設置費用等、様々な課題について検討していく。

町の平和政策と安保法制

町民が安心して暮らせる町づくりに取り組む

- 問** ①町は30年前に非核平和都市宣言を行ったが、平和行政の施策と実施状況は。
- ②瀬戸内寂聴さんは、「戦争はすべて悪い。たくさん人を殺して褒められるなんておかしい話はない」と語り、安保法制反対を訴えた。
- ③再び戦争をしないと誓った憲法9条が破壊されると危惧されており、町長の見解は。



- 答** ①町は30年前に非核平和都市宣言を行ったが、平和行政の施策と実施状況は。庁舎のロビーや図書館で原爆写真展の開催計画を。
- ②自然災害を前提とした危機管理対策や福祉・環境、教育問題など町民が安心して暮らせる町づくりに取り組む。

喜田修議員に総務大臣感謝状



喜田 修 議員

10月16日、都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式において、町村議会議員として35年以上在職し、住民福祉の向上、地域の振興発展に寄与され、議長及び副議長並びに議会運営委員会委員長、常任委員会副委員長及び特別委員会副委員長等を歴任し、議会の円滑な運営に尽力されたものとして、感謝状が贈られました。

四国地区町村議会議長会表彰



佐野 慶一 議長



奥村 晴明 議員

10月23日、四国地区町村議会議長会研修会において、町村議会議員として19年以上在職し、議長、副議長、常任委員会委員長、監査委員等を歴任されるなど功労のあったものとして、次の方が表彰されました。

視察研修報告

8月24日から26日まで、議員及び事務局長の15名により、岩手県岩手郡葛巻町と岩手県紫波郡紫波町への視察研修を実施しました。

葛巻町は、北緯40度、岩手県の東北部に位置する町である。町の面積の86%を緑豊かな森林が占め、標高1000メートルを超える山間高冷地で、酪農と林業の町である。町の持つ多面的な資源と機能を最大限に活用し「北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーの町 くずまき」として、「地方創生・まち、ひと、しごとづくり」に挑戦している。

「まち、ひと、しごとづくり」のうち、「まち」は、太陽光発電やバイオマスエネルギー等のクリーンエネルギーの導入、「ひと」では、移住・定住支援、「しごと」では、酪農の高度化や町をあげてのワインづくりを展開している。

え直し、クリーンエネルギーに変えることで、観光客が50万人訪れる町に変貌した。町の規模や地勢も違う葛巻町の施策をそのまま藍住町に導入するというわけにはいかないが、地方創生元年といわれる今、町に求められているのは、デメリットをメリットに変える、こうした発想の転換や新しい発想である。

藍住町は地方創生に取組むために、地方創生推進会議を立ち上げ、藍住町総合戦略を策定しているところである。この総合戦略は、12月の定例会において提案されて審査する予定である。これから地方は自主的かつ主体的に施策を計画し、実行することになる。

葛巻町のこの取組は、非常に参考になるものであった。紫波町では、オガールプロジェクト（紫波中央駅前都市整備事業）の視察を実施した。JR紫波中央駅西側一帯の町有地10・7ヘクタールを中心とした都市整備を図るため、町民や民間

企業の意見を反映させて、平成21年3月に「紫波町公民連携基本計画」を策定、この計画に基づき平成21年度から始まった紫波中央駅前都市整備事業をオガールプロジェクトと称している。このプロジェクトの推進エンジンとなったのが、紫波町が出資して、同年設立したオガール紫波（株）である。都市再生機構でまちづくりに携わり、東洋大学でPPP（公民連携）を学んだ地元出身の岡崎正信氏が事業部長として民間から就任し、営業活動の中心を担っている。

紫波町は、10年以上放置された町有地10・7ヘクタールをPPP手法で整備することによって、年間80万人以上が訪れるような町となった。ここ数年で最も注目を浴びるPPPまちづくり事例である。小泉政務官による現地視察やマスコミで紹介されたことによって、視察が殺到し、27年度だけで200件を超えている。

オガールプロジェクトを全力で支えてきた藤原町長は、オガールプロジェクトとPPPとは何かについて、100回以上の住民説明会を開催している。住民の理解が得られたのは、時間をかけ、丁寧な説明を行った成果である。

また、オガールプロジェクトでは、徹底したコスト管理が行われている。「オガールプラザ」の中核施設である図書館は、天井の配管はむき出しのままである。厳しいコストカットを経てオープンした図書館であるが、オガールプロジェクトの中心施設として、現在では集客に大きな役割を果たしている。



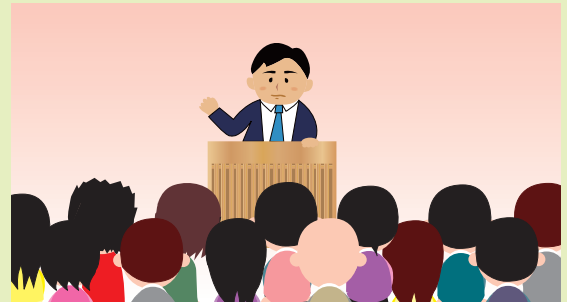
岩手県葛巻町での研修

藍住町は、（仮称）藍住町文化ホール・公共施設複合化事業を計画し、進めているところである。文化ホールが、新しいまちの人々が集う施設になるために、財政負担を考慮しながら、今後の事業計画を検討していく必要がある。

来年の2月は町議会議員の選挙である。選挙戦の最中は、声を枯らして住宅街を周り、名前を連呼する選挙カーがやってくるため憂うつである。1台がさつてようやく静かになったと思ったら、また、次の一団と、朝から晩まで静まることがない。窓を閉め切っていても聞こえる大音量。特に2月は受験シーズンでもあり、病気で寝込んでいる人もいると思う。

自ら足を運んで聞きに行く会場での演説会とは違い、街頭演説や選挙カーの声は嫌でも耳に入ってくる。言いたいことだけを言って、通り過ぎてしまう選挙カーが腹立たしいのも無理はないと思う。生活リズムを乱すだけの選挙カーでの連呼はやめてもらいたい。前回の選挙は選挙カーが走らず静かだった。

立候補者の皆さん、静かな選挙運動を実現していただきたい。



議会のうごき

8月

19日 板野郡議長会定例会

(松茂町)

21日 第十堰対策促進期成同盟会

通常総会 (徳島市)

24～26日

議員視察研修

(岩手県葛巻町・紫波町)

27日 議会運営委員会

28日 議会広報紙作成講座

(徳島市)

9月

3日 西部補導センター定例監査

(板野町)

7日 9月議会定例会開会

議会運営委員会

9日 厚生常任委員会

10日 建設産業常任委員会

11日 総務文教常任委員会

13日 敬老のつどい

東中学校体育祭

15日 9月議会定例会一般質問

17日 国民体育大会壮行会

19日 北幼・北小運動会

27日 東幼・東小運動会

28～29日

四国四県町村長・議長大会

(香川県)

30日 9月議会定例会閉会

10月

1日 なくせじん肺キャラバン要請

行動来庁

3日 南幼・南小、西幼・西小運動会

4日 町制施行60周年記念「あいす

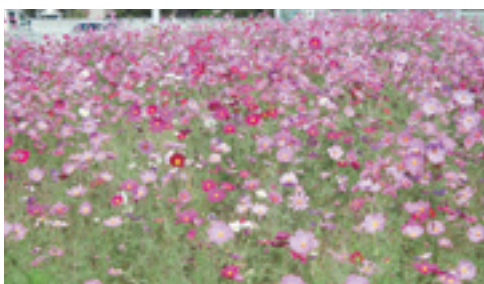
むまちの音楽会」

23日 四国地区町村議会議長会研修

会 (徳島市)

31日 福祉・健康づくりフェスティ

バル



コスモスの花

編集後記

季節の移ろいが早く感じられるようになった。それだけ自分が年を取ったということだろう。私たち町議会議員の任期も残すところ3か月余り、次の12月議会は、今期最後の定例会となる。果たして、町民の期待に応えられたのだろうか。自問自答の毎日だ。

一方、全国的な問題として、若者の政治離れが指摘されている。折しも、来年夏の参議院議員選挙からは、選挙権年齢が引き下げられ、18歳になると、選挙(投票)権が与えられる。残された3か月余の任期、地方議会といえども、若い人たちに魅力を発信し、信頼される議会活動を行いたいと思う。

(奥村 晴明)

議会だより編集委員会

委員長 濱 眞 吉
副委員長 奥 村 晴 明
委員 西 川 良 夫
委員 古 川 義 夫
委員 永 茂 樹